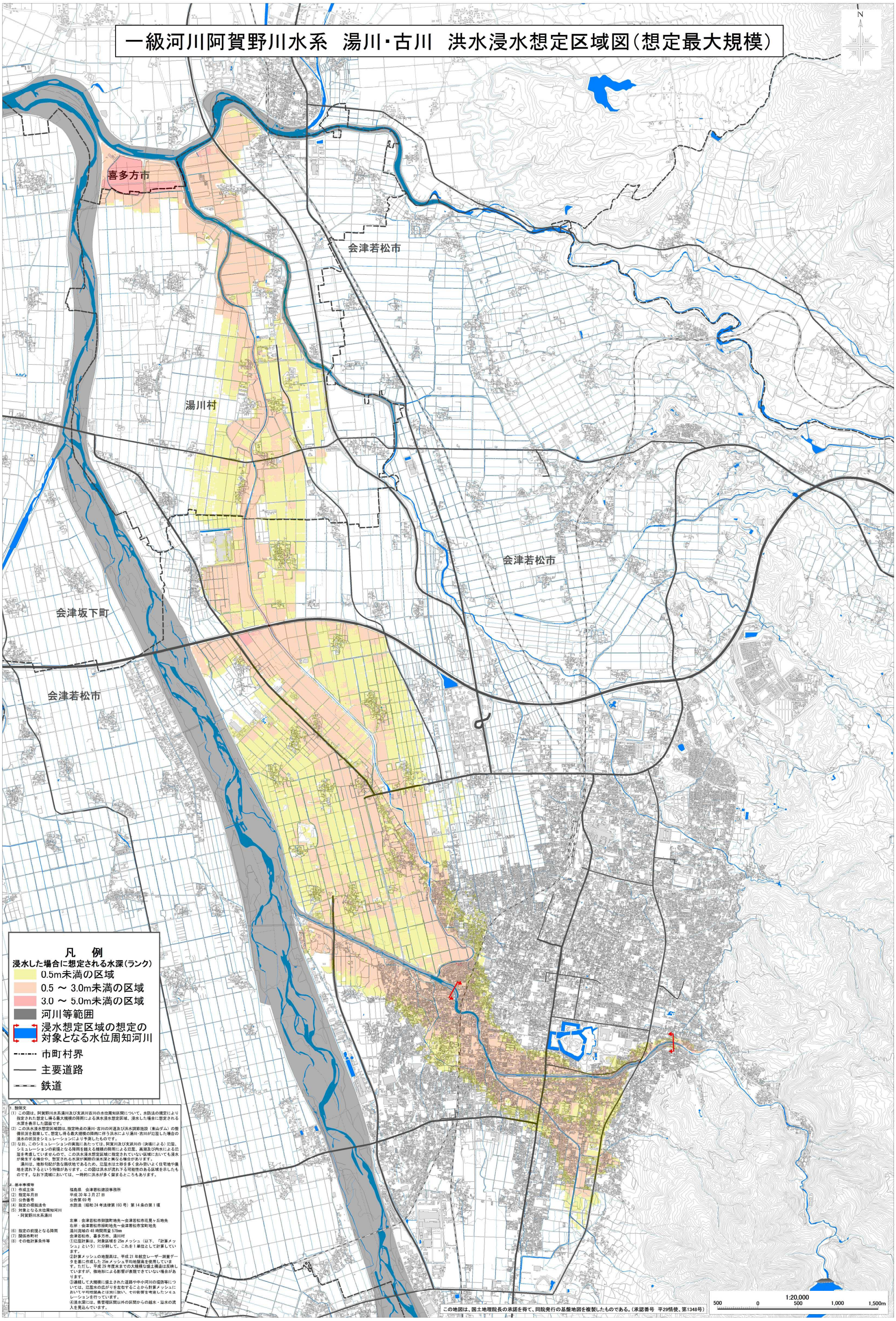
一級河川阿賀野川水系　湯川・古川　洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



1. 説明文

（1）この図は、阿賀野川水系湯川及び支派川古川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）この洪水浸水想定区域図は、指定時点の湯川・古川の河道及び洪水調節施設（東山ダム）の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により湯川・古川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、阿賀川及び支派川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を越える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

湯川は、地形勾配が急な扇状地であるため、氾濫水は土砂を多く含み勢いよく住宅地や農地を流れ下るという特徴があります。この図は洪水が流れ下る可能性のある区域を示したものです。なお下流域においては、一時的に洪水が多く留まるところもあります。

2. 基本事項等

（1）作成主体	福島県　会津若松建設事務所
（2）指定年月日	平成 30 年 3 月 27 日
（3）公告番号	公告第 69 号
（4）指定の根拠法令	水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条の第 1 項
（5）対象となる水位周知河川 ・阿賀野川水系湯川	左岸：会津若松市御旗町地先～会津若松市花見ヶ丘地先 右岸：会津若松市緑町地先～会津若松市宝町地先
（6）指定の前提となる降雨	湯川流域の 48 時間雨量 578mm
（7）関係市町村	会津若松市、喜多方市、湯川村
（8）その他計算条件等	①氾濫計算は、対象区域を 25m メッシュ（以下、「計算メッシュ」という）に分割して、これを 1 単位として計算しています。 ②計算メッシュの地盤高は、平成 21 年航空レーザー測量データを基に作成した 25m メッシュ平均地盤高を使用しています。ただし、平成 29 年度末までの大規模な盛土構造は反映していますが、微地形による影響が表現できていない場合があります。 ③連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水の広がりを左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に設い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。 ④浸水深には、県管理区間以外の区間からの越水・溢水の流入を見込んでいます。

この地図は、国土地理院長の承諾を得て、同院発行の基盤地図を複製したものである。（承認番号　平29情使、第1348号）